

ベースアップで格差が広がった！

(2)専任職					
職群等級	本給レンジ			改善額	
	レンジ1	レンジ2	レンジ3		
上級専任職	最高本給	400,500	400,500	400,500	+500
	レンジ中央	365,000	365,000	365,000	0
	初任本給	330,500	330,500	330,500	+500
専任職1級	最高本給	335,500	325,500	325,500	+500
	レンジ中央	302,500	292,500	292,500	0
	初任本給	270,000	260,000	260,000	0
専任職2級	最高本給	260,500	255,500	250,500	+500
	レンジ中央	238,000	233,000	228,000	0
	初任本給	216,000	211,000	206,000	0
専任職3級	最高本給	211,000	206,000	201,000	0
	レンジ中央	193,000	188,000	184,000	0
	初任本給	175,000	170,000	167,000	0
専任職4級	最高本給	165,000	165,000	165,000	0
	レンジ中央	149,750	149,750	149,750	0
	初任本給	134,500	134,500	134,500	0

(1)総合職			
職群等級	本給レンジ		改善額
	最高本給	レンジ中央	
総合職5級	最高本給	398,000	0
	レンジ中央	358,000	+2000
	初任本給	318,000	+4000
総合職6級	最高本給	323,000	0
	レンジ中央	296,000	+4500
	初任本給	269,000	+9000
総合職7級	最高本給	269,000	0
	レンジ中央	246,000	0
	初任本給	223,000	0
総合職8級	最高本給	223,000	0
	レンジ中央	196,500	0
	初任本給	170,000	0

日立AP清水事業所
と関連会社で働く
人のネットワーク



オアシス

2014年6・7月

No. 58

発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL

090-9121-0602

偽りのベースアップ

今年の春闘のベースアップについて、総合職5級、6級、上級専任職、専任職1級、2級にて水準改善が実施される一方、総合職7級、8級、専任職3級、4級においては、ベースアップが実現しませんでした。本来ベースアップは全体の賃金水準を引き上げるのですが、上級職しか引き上げないのは、まやかしのベースアップであり、組合員の期待を裏切るものです。

偽りの最低賃金

企業内最低賃金は、18歳以上において、月1,500円引き上げられました。しかし「31歳以上については基準線とする」「基準線については、最低保障賃金を原則として下回らないものとする」となっています。実態は、真面目に働いていても最低賃金に届かない労働者がいます。運用を含め、最低賃金の見直しが必要です。

子育て中で、仕事と育児を頑張って両立している臨時員の女性たちに『子供が3才になるとフルタイムで働けないから、臨時員からパートになるように』『臨時員からパートになってもデメリットはなく、給料も年休も変わらないし、フルタイムで働けるようになる』と、勤労課から説明を受けたという話を聞きました。

仕事量も責任も社員と同じように求められて、仕事能力も高いのに、契約の違いだけで差別を受けています。立派な日立グループ人権方針があっても、守れなければ「絵に描いた餅」です。